2024年度（令和6年度）

事 業 報 告 書

学校法人 新島学園

目 次

１．学校法人の概要
（１）学園の建学の精神と教育理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２
（２）学校法人の沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２
（３）設置する学校・学科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３
（４）学校・学科の生徒・学生数の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３
（５）役員の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３
（６）評議員の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
（７）会計監査人の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
（８）教職員の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４

２．事業の概要（2024 年度 事業報告）
（１）法人本部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５
（２）短期大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７
（３）中学校・高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９

Ⅰ 学校法人の概要

(1)　新島学園の建学の精神と教育理念

① 建学の精神

新島学園の名前は新島襄に由来し、「新島襄先生の人格をきん慕し、その 遺風を顕彰しキリスト教精神を基本とする徳育を施し、品性高潔な国家社会に有用の人材を育成する」こととしている。

担う使命として、新島襄先生の教育理念に基づき「一国の良心ともいうべき人物を育てる」を掲げ、また、「一年の計には穀を植え、十年の計には木を植え、百年の計にはすべからく人材を養え」との創設者の想いを基としている。

② 教育理念

・中学校・高等学校「教育5原則」

1）キリスト教精神を教育の基とする
2）一人ひとりの生徒を愛し、その人格を重んずる
3）知識水準を高くし、勉学の喜びを教える
4）勤労を尊び、天然資源の利用を学ぶ
5）己を知り、国を愛し、隣人に仕え、世界を友とする心を養う

・短期大学「教育モットー」

1）真理 ： 自分の使命を探求すること
2）正義 ： 信念に基づいた行動力を持つこと
3）平和 ： 相手の価値観、感情を尊重すること

(2)　学校法人の沿革

1947 年 5 月　新島学園中学校（男子校）開校
1948 年 4 月　学制改革により、新島学園高等学校並びに附属中学校に移行
1951 年 3 月　学校法人に組織変更し、新島学園高等学校高等学部・同中学部に名称変更
1968 年 4 月　高等学部・中学部を男女共学とする
1971 年 3 月　新島学園高等学校、新島学園中学校に改める
1983 年 4 月　新島学園女子短期大学国際文化学科開学
1986 年 4 月　新島学園法人本部設置
2002 年 4 月　高等学校、中学校を併設型に改組
2004 年 4 月　新島学園女子短期大学を新島学園短期大学に名称変更し、男女共学とする
国際文化学科を募集停止し、保育学科及びキャリアデザイン学科を設置
2006 年 4 月　短期大学保育学科をコミュニティ子ども学科に名称変更

(3)設置する学校・学科

設置する学校	開校年月	学科	摘要
新島学園短期大学	1983 年 4 月	キャリアデザイン学科	2004 年改組
		コミュニティ子ども学科	2004 年改組
新島学園高等学校	1948 年4月	普通科	
新島学園中学校	1947 年5月		

(4)学校・学科の生徒・学生数の状況 (2025 年 5 月 1 日現在)(単位:人)

学校名		入学定員	収容定員数	現員	摘要
新島学園短期大学	キャリアデザイン学科	130	260	157	
	コミュニティ子ども学科	50	100	71	
新島学園高等学校		200	600	674	
新島学園中学校		170	540	421	2024 年度より入学定員を 170 名に変更

(5)役員の概要

(2025 年 6 月 7 日現在)

定数 理事 9 名～12 名以内、監事 2 名

区 分	氏 名	常勤・非常勤の別	就 任	再 任	選任区分
理事長	湯浅康毅	常 勤	2008 年 4 月 1 日	2025 年 6 月 7 日	学識経験者
理 事	小栗仁志	常 勤	2023 年 4 月 1 日	2025 年 6 月 7 日	中学校高等学校長
理 事	髙山有紀	常 勤	2025 年 3 月 29 日	2025 年 6 月 7 日	短期大学長
理 事	八田祥孝	常 勤	2015 年 4 月 1 日	2025 年 6 月 7 日	学識経験者
理 事	萩原裕子	常 勤	2025 年 6 月 7 日		学識経験者
理 事	月本昭男	非常勤	2000 年 9 月 30 日	2025 年 6 月 7 日	学識経験者
理 事	横山慶一	非常勤	2017 年 4 月 1 日	2025 年 6 月 7 日	学識経験者
理 事	本井康博	非常勤	2021 年 4 月 1 日	2025 年 6 月 7 日	学識経験者
理 事	増田貴治	非常勤	2021 年 4 月 1 日	2025 年 6 月 7 日	学識経験者
理 事	原 誠	非常勤	2021 年 4 月 1 日	2025 年 6 月 7 日	学識経験者
理 事	靜 朋人	非常勤	2021 年 5 月 29 日	2025 年 6 月 7 日	学識経験者
理 事	朝日研一朗	非常勤	2023 年 4 月 1 日	2025 年 6 月 7 日	学識経験者
監 事	小瀧秀夫	非常勤	2019 年 4 月 1 日	2025 年 6 月 7 日	
監 事	松村丈生	非常勤	2020 年 9 月30日	2025 年 6 月 7 日	

(6)評議員の概要

(2025年6月7日現在)

定数10名～15名 以内

氏　名	選任区分
駒　田　純　久	法　人　職　員
中　村　信　勝	法　人　職　員
丸　岡　え　み	卒　　業　　者
関　　千　景	卒　　業　　者
湯　川　嘉　昭	卒　　業　　者
熊　木　亮　介	卒　　業　　者
荒　川　朋　子	学 識 経 験 者
櫻　井　雅　寿	学 識 経 験 者
細　谷　可　祝	学 識 経 験 者
武　井　弘　子	学 識 経 験 者
富　田　全　子	学 識 経 験 者
南　都　隆　道	学 識 経 験 者
半　　田　　充	学 識 経 験 者
三　　宅　　豊	学 識 経 験 者
湯　浅　雄　太	学 識 経 験 者

(7)会計監査人の概要

(2025年6月7日現在)

定数2名

氏　名	役　職
田　島　龍　一	公認会計士･税理士
平　　田　　稔	公認会計士･税理士

(8)教職員の概要

(2025年5月1日現在)(単位:人)

区 分		短期大学	高等学校	中学校	本 部	合 計
教員	本 務	17	40	25	0	82
	非常勤	44	18	11	0	73
職員	本 務	17	7	5	4	33
	兼 務	1	1	0	0	2
合 計		79	66	41	4	190

2. 事業の概要

（1）2024年度 事業報告（法人本部）

No.	活動計画	No.	施策	2024年度の取組状況
①	「建学の精神」推進 （伝統を守る）	1	「新島襄の精神/キリスト教を学ぶ」機会の増加（学生生徒、教職員、保護者、理事/監事/評議員）	・4月1日（月）、新入職者は安中教会にて「建学の精神」等を朝日牧師、湯浅理事長より学ぶ。 ・湯浅理事長による、中高礼拝・短大チャペルアワーの奨励。 ・9月28日（土）、同志社校友会群馬県支部主催「新島研究会」講座参加。 ※本井先生寄贈の新書「ルビコン川を渡る」を理事・監事・評議員・中高短大教職員へ配布し共有。
		2	新島文化研究所活動の推進強化	・今年度から研究所会議を毎月開催（湯浅理事長・岩田学長・小栗校長・臂所長・八田理事・星野研究員）。 ※昨年までは2ヶ月に一度の開催。
		3	学園関係者・地域連携の更なる関係構築	・湯浅理事長のアジア学院訪問やICU関係者が来校するなど、他校との交流をおこなう。 ・根笹会総会（6/1）、東京根笹会（7/5）、安中根笹会（7/6）に参加。 ・6月22日（土）、中高「清心寮」同窓会参加。 ・安中市南地区まちづくり説明会（7/7）参加。
		4	新島襄ゆかりの地/関係者（米国東部、京都、熊本、東北、函館など）との連携強化	・6月22日（土）安中市・同志社連携事業として1回目の「新島講座」を中高礼拝堂にて開催。 ・9月14日（土）～18日（水）、湯浅理事長ボストン出張。アーモスト大学、オールドサウス教会等を訪問し交流を深め、新島学園の存在アピール、関係性の強化を図る。
②	「No Place like Niijima」推進 （伝統を活かす）	1	理事長室（経営戦略室）活動の推進強化	・今年度から「拡大版理事長室」を設置し、八田理事、岩田学長、小栗校長、が参画。これまでの理事長室（経営戦略室）を「理事長室事務局」として、2階層の建付けとして活動をおこなう。 ・昨年度末に実施した「市場調査」の報告を第1回理事会にておこなう。 ・今年度計画した「中高在校生アンケート」は8月下旬に終了し、集計分析をおこなう。 ・オープンキャンパス（短大）、オープンスクール（中高）を視察し、各広報担当者と協議。 ・中高の構造改革計画の推進。 ・情報収集や研修会などへ参加し、今後の経営戦略立案の参考とする。
		2	学園運営力の強化（人材育成強化、財務体質強化、寄付金募集強化、など）	・今年度資金運用方針に運用目標値を明記。 ・事務職員研修（学校会計、予算編成）参加。 ・8月1日(木)、事務職員研修会(法制執務/講師:(株)ぎょうせい)実施。 ・キリスト教同盟校事務局長、事務長研修参加。
		3	「いのちの教育」の推進強化	・新島学園ファーム活動（草刈り等）の継続。 ・避難訓練などの活動支援。 ・廃線ウォーク（中1）実施。 ・短大「わかちあいカフェ」実施。 ・湯浅理事長、講演会や上映会に参加。
		4	透明性の高い会議体（理事会、評議員会、会計監査報告会、監事意見交換会など）運営	・上半期は、臨時常任理事会を2回開催し、スピード感のある会議体運営をおこなう。 その他、監事監査や会計監査なども含め、計画通り運営している。
		5	人事制度改定プロジェクトの推進	・勤務体系について継続検討 ・給与等処遇改善のための情報収集。
		6	新島ブランドの管理・強化	・中高/短大ともに、ブランドVI計画が浸透してきた。 ・「襄出来」の商標登録が完了。
		7	私学法改正に伴う規程類の改定（2024年度中に文科省へ許可申請、2025年4月より施行）	・昨年度末より改定作業を始め、9月の理事会において、重要事項等の協議は終了。

③	甲学校・高等学校および短期大学の活動支援	1	構造改革プロジェクトの支援	・短大：「FB専攻」支援がメイン。
		2	危機管理プログラム（ハラスメント研修、情報セキュリティ、防災訓練等）の支援	・今年度は、短大/中高ともに4月中にハラスメント研修を実施。 ・避難訓練も中高では1回目を4月に実施。 ・情報セキュリティ強化（ファイアーオール強化）については、中高情報科教員のサポートもあり、実施済み。
		3	働き方改革推進等の支援（中高）	・中高では、毎週水曜日に「働き方改革・部活動改革」会議を開催し、日々の改善も含め、計画的に運営している。
		4	積極的な広報活動（情報発信（HP・SNS）、学校訪問、オープンキャンパス・オープンスクール等）の支援	・オープンキャンパス、オープンスクール、学校説明会等の回数や内容の変更等をおこない、積極的な活動を継続している。 ・HPやSNSでの情報発信量や更新頻度も改善され、学生生徒の募集活動に繋がっている。
		5	施設等に関する長期修繕計画の立案・運営等の支援	・中高/短大ともに、今年度中に「長期修繕計画」を立案する予定。中高では基本案が出来、改善支援中。

(2) 2024年度 事業報告（短期大学）

No.	活動計画	No.	施策	2024年度の取組状況
①	キリスト教精神を生かしたキャンパスライフ	1	チャペルアワーの時間を学生が自己の人生を考える時間として位置づけ、聖書を題材としつつも、学生のこれからの人生と関連付けられる要素を充実させていく。その効果に関してはアンケートで把握し、宗教主任を交えた管理職教職員で検討し、改善を図っていく。	アンケートについては宗教委員会で後期実施と決めたことで、前期は実施しなかった。チャペルアワーの奨励の内容に関しては、学生チャペル2回のほか、本学の教員2名、職員1名、子ども園、幼稚園の園長など、学生にとって分かりやすく、共感のできる内容になっていたと感じている。
		2	教職員に対しての、建学の精神、キリスト教主義教育に関する研修を年1回実施する。新任教職員に関しては、入職時にも研修を行う。	キリスト教主義教育に関する研修は、毎年、春休みに実施しているので今年度も2月頃に実施予定。新任教職員に関しては、分かち合いカフェの企画・実施に携わってもらったり、キリスト教学校教育同盟の研修会に参加してもらったりしてキリスト教理解を深めてもらった。
		3	日常のキャンパスライフにおいてキリスト教精神を体感できるようなプログラムを検討し、実施する。	食べ物を皆で分かち合って食べ、それに対する感謝の気持ちを献金してもらい、被災地等の支援を行う「分かち合いカフェ」を4年ぶりに再開。和菓子やかき氷等を分かち合い、能登半島地震等の支援に送金する予定。
		4	「いのち」の大切さについて考える機会を持つ。	チャペルアワーで関連するテーマについて触れられてはいたが、直接に「いのち」をテーマとした活動は実施できなかった。
②	入学者の確保	1	キャリアデザイン学科に関しては、フードビジネス専攻を新設し、新しい分野での入学者増を図る。また既存の4コースに関しても、ニーズに合わせた改善案を策定する。	フードビジネス専攻については、教員組織、カリキュラムを固めることができた。他の4コースについては、ライフデザインのキャリア支援強化を実施。またグローバルキャリアコースの見直しについても検討を始めた。
		2	コミュニティ子ども学科に関しては、連携校はじめとして、生徒一人ひとりとの接触を図る中で本学の魅力を伝えていく。	連携活動については予定通り実施できた。
		3	連携高校との活動のより活性化と新しい連携の形を検討する（WCVなど）。	連携校の一つ、長野県須坂創生高校の3年生に本学の授業等を体験してもらうことができた。
		4	県内短大と連携して短期大学教育のメリットをアピールしていく。	3月に実施した『短大フェア」の共同幹事校であった育英短期大学と今年度の活動について9月に協議を行い、活動案をまとめた。
		5	広報部門を中心に、教職員が一丸となった、全学挙げての広報体制を確立する。	オープンキャンパスの実施、進学相談会への参加、ニュースリリース等の広報活動に関しては、教職員が協力して取り組んでいた。
		6	受験生、高等学校への定期的な情報発信と計画的、効果的な高校訪問を行う。	YAHOOを活用した情報発信や、範囲を広げた高校訪問など、ターゲットを広げた情報発信ができた。また高校内等で行われる進学相談会にも積極的に参加した。
		7	差別化を図ることのできる就職実績（含む公務員）、編入実績を挙げる。	早期での内定率増加を目標に就職支援に取り組んでもらった結果、昨年よりも少し良い内定率となっている。
		8	保護者、卒業生に対してもアンケート等を実施し、教育内容の改善を図る。	就職先へのアンケートに加え、今回、初めて卒業生に対してのアンケートを9月に実施した。
③	組織づくり	1	学長、副学長、学長補佐、学科長、事務長等で構成する会議体を組織し、事業計画の実施、見直し等を管理する。	学長、副学長、学長補佐、学科長、事務局管理職で構成する「役職者会議」を組織し、月1回、会議を開催し、情報共有と重要な案件の協議を行っている。
		2	エンロールメントマネジメントの展開（ホームカミングなど）とIR活動スタート。	ホームカミングデーについては10月開催を決め、そのための準備を行った。
		3	教学マネジメントを担当する部署の新設。	教学マネジメント委員会を組織し定期的に会議を行い、3ポリシーの点検はじめ、教学マネジメントに必要な指針等の整備やその展開を行っている。
		4	キャリアデザイン学科とコミュニティ子ども学科の連携を構想する。	今年度は、5月に実施した学内スポーツ大会で、CDのゼミとCCのゼミが混在したチーム編成とし、交流を図った。
		5	教職員の能力開発（体系的なFD・SD活動、業務の効率化による新しい活動の展開）	7月に中高の大野教諭を講師に招いて、情報マネジメントに関するSD研修を実施。8月には関西大学の山田教授を講師に、ルーブリック評価に関するFD研修を実施した。

④	将来構想ほか	1	学科増や四年制大学の開設も視野に入れて情報収集等の準備活動を継続していく。	他大学の学部増設等に関する情報は、定期的に収集している。
		2	将来の展開を見据えた施設・設備整備計画を立案していく	将来を見据えた施設・設備整備計画の策定を準備している。
		3	現在の学科体制となって20年となるので、これまでの歩みの総括と、リカレント教育はじめ、今後の展開を社会にアピールする。	昨年度、文部科学省の補助事業として実施したリカレントプログラム「保育×DX」については、今年度独自に実施している。
		4	補助金獲得チームを編成し補助金の増額を図る。	補助金獲得チームを編成。そこで補助金増額につながる活動等を確認し、準備を進めている。

(3) 2024年度 事業報告（中学校・高等学校）

	活動計画	No.	施策	2024年度の取組状況
①	建学の精神の再確認	1	礼拝の充実	①イースター礼拝を4月22日に実施（説教者 日本キリスト教団緑野教会牧師 藤田基道牧師） 特別伝道礼拝を10月9日に実施（説教者 日本キリスト教団前橋教会 川上盾牧師） 特別伝道礼拝分科会を10月8日に実施（担当 高崎教会 安部勉牧師、緑野教会 藤田基道牧師、桐生東部教会 三浦啓牧師、甘楽教会 石田透牧師） クリスマス礼拝を12月17日に実施（説教者 日本キリスト教団川和教会 平良愛香牧師） 新島襄召天記念礼拝を1月15日に実施（説教者 同志社大学キリスト教文化センター 李 元重牧師） ②朝の礼拝はクリスチャン教員を中止に予定通り実施した。 学園長 中学2回、高校2回 校長 放送9回、中学12回、高校13回 楠元先生 放送8回、中学8回、高校8回 三浦先生 放送7回、中学0回、高校3回 田中聡子先生 放送5回、中学3回、高校3回 小林英彦先生 放送1回、中学5回、高校4回 中島利恵子先生 中学2回、高校2回 大島先生 放送3回、中学2回、高校2回 齋藤 範子先生 中学1回、高校1回 生徒礼拝（聖歌隊、管楽アンサンブル、弦楽団、男性合唱）中学8回、高校8回 生徒礼拝（アジア学院報告）中学1回、高校1回 生徒礼拝（フィリピン医療ボランティア報告）中学1回、高校1回
		2	新島襄の生涯と精神を学ぶ機会の増加	①新入生オリエンテーションでの生徒への建学の精神の説明（4月） ②新人教員研修にて建学の精神の講話（4月） ③開校記念日に教員向け「教育の五原則」の講話（5／1） ④安中史跡巡りの実施（5／10） ⑤保護者のためのキリスト教講座（5／21，6／14，9／20，10／15，11／12，11／29，1／28，2／25） ⑥学校法人同志社と安中市との連携協定に基づく新島講演会（6／22） ⑦安中学年PTA（中学1年生）にて講話（8／24） ⑧3学期の朝の礼拝で新島襄の話を集中して行う
		3	校長メッセージの作成と共有	教員向けのキリスト教メッセージの配信を予定していたが、未着手
		4	いのちの教育の推進	①中学1年生廃線ウォーク（4／26） ②新島学園ファームでの農業体験（5／10、9／19、2／13） ③フィリピン医療ボランティア参加報告（5／29、6／5） ④黒崎涼太さん記念講演会（7／19） ⑤アジア学院ワークキャンプ（8／19~21）高校生5名参加 ⑥アジア学院ワークキャンプ参加報告（9／26，9／27） ⑦助産師出前講座（10／27）
②	生徒の自由を重んじ、生徒の主体性を育てる教育	1	ICT技術をより一層活用し、アクティブラーニング型授業へと転換していく	授業評価アンケートを各学期末に実施した。内容を教科主任を通してフィードバックし、教科での検討・指導を実施した。 アンケートの結果、ICTを十分に活用できていない教員も見られる。今後、改善が求められる。
		2	中学を先行して相互のコミュニケーション能力の強化	①構成的グループエンカウンター実施 （中学1年生1回、中学2年生1回実施） ②構成的グループエンカウンター入門研修参加（3名）
		3	生徒会の意見を取り入れた学校ルール作り	①ノーチャイムテスト週間（6／3~7） ②アイスクリーム自動販売機2台導入（8／19） ③いじめ防止フォーラム（7／17） ④安中市市議会議員との交流会（7／19） ⑤安中南地区まちづくりワークショップ参加（9／8、10／27、12／1、2／2）
		4	地域と連携した教育プログラムの推進	①地域のボランティア活動など随時紹介している。 ②フィリピン医療ボランティア ③安中市市議会議員との交流会（7／19） ④安中南地区まちづくりワークショップ参加（9／8、10／27、12／1、2／2） ⑤中学3年生 職場体験（10／29−11／1、3／4−6）
		5	ユネスコスクール活動の推進	①田中教頭が礼拝メッセージでユネスコ関連の情報の提供を行っている。 ②ユネスコシンポジウムへの生徒の参加（11／2）

③	教職員の活動支援	1	学年団の自主性を尊重した学年運営	①中学3年生の職業体験を実施 ②3月の中学2年生の研修旅行で、能登の震災学習を実施
		2	校務分掌の定期的なローテーションの実施	昨年度、総務部長を久しぶりに任命し、生徒指導部長、生徒会部長、広報部長、情報部長の交代を行い、その2年目である。継続して業務にあたってもらっている。
		3	教員向け研修の推進	①新人研修については、新卒の教員は県の初任者研修に参加させてもらっている。本校独自の内容は随時実施している。 ②ハラスメント研修（4／22） ③ICT研修（5／17、9／17、1／31） ④LGBTQ研修（6／18） ⑤AED研修（7／22，7／23） ⑥志望理由書添削指導（8／29） ⑦合理的配慮（11／11） ⑧キリスト教学校教育同盟新任教師研修（8／1～3） ⑨群馬県私立小・中・高等学校協会中堅研修（8／5～6） ⑩群馬県私立小・中・高等学校協会教科研修（9／18社会、10／24英語）
		4	生徒の人権を尊重したコンプライアンスの実現	①授業評価アンケートで、対応を必要な教員には別途指導を行った。 ②生徒、保護者からの訴えに対しては随時対応し、コンプライアンス遵守を目指している。 ③4／22にハラスメント研修を実施し、生徒への適切な対応を学んだ。
		5	部活動改革、働き方改革の推進（ICT技術の活用）	①部活動働き方改革委員会の開催 ②バレーボール部、山岳部の新入部員募集停止 ③最終見回り及び施錠業務の外部業者委託を始める ④教務棟午後8時施錠の開始 ⑤部室の再配置を実施 ⑥部室の清掃を実施 ⑦働き方アンケートを実施
		6	学校の諸課題に関する教職員のワークショップ実施	未着手
④	構造改革の推進	1	構造改革プロジェクトの推進	アクティブラーニング教育の強化、相互のコミュニケーションの活性化については日常の活動にて取り組んでいる。 来年度は新島プロジェクトに内容を引き継いでいく
		2	入試制度の見直しと改善	入学試験については、昨年度に行った改訂を継続実施 Webでの手続きを、従来の出願に加え、合否発表、入金、イベント参加申込みを追加し、Webでのアクセスをよりしやすくした。 入試査定においては広報での連絡と整合性をとり、面接結果を重視して実施した。
		3	積極的な広報活動	①オープンスクールを3回開催から、2回開催へ変更。参加者は昨年度、一昨年度よりも増加。 ②各地区で行っていた学校説明会を、一部学校開催に集約した。（地区開催7減、学校開催2増）結果、全体の参加者数は前年度よりも増加した。 ③新島学園として模試（プレテスト）を計画した。11月に実施した。 ④広報関係のデジタルコンテンツを充実（授業動画、校内360°ビューなど） アクセス数を伸ばしている。 ⑤各広報イベントへのアクセス数は昨年度よりも増加した。 ⑥最終的な受験者は中学入試はほぼ前年度通り、高校入試は減少した。
		4	新人事制度制定への協力	未着手
		5	学校施設整備計画の策定	本校舎・北校舎の給排水・電気設備について調査計画を設計会社に依頼
		6	授業評価/学校評価の推進	①授業評価アンケートを予定通り学期毎に実施 教科主任を通して本人にフィードバックした。個別指導が必要な教員には別途指導を行った。 ②学校評価は3月に実施した